

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1 不可	① よくないこと。いけないこと。 (例: 「可もなく不可もなし」など) ② 成績などの等級の最下位。優・良・可に次ぐもので、不合格。 (goo国語辞書)		北海道	○●	①「良くない」②「最低」+「悪い」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、<悪い><難しい><不合格><否認・許さない(肘に手を添える)><不同意(片手のみ)>の表現が見られた。いちばん使いやすい表現ということで<不同意>を選ぶ。  ⇒<不同意>と同じ  ※北信越班のA・東海班・近畿班の②の案を採用
			東北	◎	「難しい」の表現		
			関東	△	「だめ、悪い」		
			北信越	保	A: 認めない B: 不合格		
			東海	△	みとめない		
			近畿	△	①難しい ②否定する と同じ表現		
			中国	△	ダメ		
			四国	ア	指文字ほ を下に下げる		
			九州	保	①認めない / ②不合格		
2 主流	① 支流が集まってできた、川の大きな流れ。本流。 ② 思想・学問・様式などの中心となる傾向。 (例: 「現在は、メールよりSNSが主流だ」など) ③ 集団・組織のなかで中心を占める流派・派閥。 (例: 「主流派と反主流派」など) 中心となっているものという意味で使われている。		北海道	○	親指を立てた左手を上へ上がる + 右手の指を広げて下へ下げる	<主流A> ◎創作手話  <主流B> △ ラベルの追加  <主流C> △ ラベルの追加	9班の案を見ると、「何が主流」かによって表現がさまざまあるため、支流の川が集まって主流となる表現、普及する表現、尊重する表現の3種類を考案した。  <主流A> ⇒ <b>掌を下に向けた両手を左右から中央に並べながら進める</b>  <主流B> ⇒<普及・広がる>と同じ ※東北・関東・中国・四国・九州班の案を参考  <主流C> ⇒<尊重>と同じ
			東北	●	左手「男」+ 右手「流行」の表現		
			関東	○	親指を立てた左手(主)の下に5指を開いた右手の甲を付ける+ ①(川の場合)右手前に出す。 ②(川以外の場合)右手を下げる。		
			北信越	ア	「主」+ 根っこを作るイメージ(流)		
			東海	●	主 + 流れ		
			近畿	ア	親指の根元に両手を広げる様子		
			中国	●	1,2 主 + 流れ 3		
			四国	○	左手で/主/ 右手でそこから流れるようす		
			九州	●	①非利き手の親指をたて、前方へ/ ②非利き手の親指をたて、下方向へ組織		
3 帰属	① 特定の組織体などに所属し従うこと。 (例: 「国家への帰属意識」など) ② 物・権利などが、特定の人・団体・国などの所有となること。 (例: 「領土の帰属問題」「国庫に帰属する」など) (goo国語辞書)		北海道	○	左手をしたらげ向け、右手「帰る」	ア アレンジ	<団体>+<基づく>、<男>の下で<求心>、<団体>+<居る>、<組織>+片手を残して人差し指を添える、<組織>の片手+<帰ってくる>、<基づいて・元>+<持つ>、<グループ>の片手の中に<男>、掌に人差し指をあてる、<参加>+うなずき のように9班バラバラの提案があった。帰属するのは個人だけではないので、広く使える表現を考案した。  ⇒ <b>右手も&lt;グループ&gt;の手形で&lt;加盟&gt;の動作</b> (<参加>のアレンジ) ※班の案の採用なし
			東北	●	左手「C」+ 右手「男」の表現		
			関東	◎	「基本」+ 左手拳を開いてまた握る		
			北信越	保	「参加」の手話単語を使うが集団の表現の位置を高め、属するときにはうなずきを入れる		
			東海	●	主 + 戻す		
			近畿	○	左手のひらに軽く人差し指を添える		
			中国	●	1 グループ + 従う 2 男 + 派		
			四国	○	/組織/ の左手に 右手人差し指をあてる		
			九州	●	団体 + いる		
4 撲滅	完全にうちほろぼすこと。根こそぎなくしてしまうこと。 (例: 「白アリを撲滅する」「伝染病を撲滅する」など) (goo国語辞書)		北海道	●	「つぶれる」+「なくなる」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、つぶす+なくなる、つぶす+きえる などの案が多い。意味に合う表現に<解消A・壊滅・絶滅・全滅・払拭>があるというところで意見がまとまる。  ⇒<解消A・壊滅・絶滅・全滅・払拭>と同じ  ※班の案を採用なし
			東北	●	「止める」+「なくなる」の表現		
			関東	●	「潰す」+「消える、無くす」。力強く素早く		
			北信越	ア	(弱めに) 廃止 + 左右横に伸ばす		
			東海	ア	すべてなくす(一括)		
			近畿	ア	なくす + 消す		
			中国	●	無くす + すっきり		
			四国	●	/つぶす/ + /消える/		
			九州	保	なくす		
5 もたらされる	「もたらす」… ① 持ってくる。持っていく。 (例: 「吉報をもたらす」など) ② 好ましくない状態を生じさせる。引き起こす。将来する。また、ある状態を実現させる。 (例: 「台風が災害をもたらす」「対立をもたらす」「利益をもたらす」「人々の生活に変化をもたらす」など) (デジタル大辞泉) ※良い意味でも悪い意味でも使える。「もたらされる」…物事がある状態になること、何かを導入されること、などの意味の表現。 (例: 「フィラリア症は、蚊によってもたらされる病気の一つである」など) (実用日本語表現辞典)		北海道	ア	①左手の上に右手2指を置き、同時に後方へ動かす ②左手の上に右手2指を置き、同時に前へ出す	ポツ	文脈によってさまざまな表現が考えられるため、検討を取りやめた。
			東北	◎	右手「持ってくる」の表現		
			関東	◎	片手の掌を上に向け斜め前から手前に引寄せ		
			北信越	○	(自分の方に) 影響/きっかけ		
			東海	△	きっかけ		
			近畿	×			
			中国	△	影響		
			四国	△	/従って/ または /によって(だからを手前に)		
			九州	保	①人差し指のみの起こる / ②掌すべてをつかう起こる		
6 不可欠	絶対に欠かせないこと。 (例: 「必要不可欠」「彼はこの組織には不可欠な人物だ」など) (goo国語辞書ほか)	類語: 「必須」…<必ずA・約束・予約・定める・必須・必修・周期(わ3-212・学I-495)>	北海道	ア	①絶対 ②必要	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、<大事>、<必ず><必要>、<決まり>の表現も見られたが、強く<必要>と表現する案が多く、意味に合っているため採用とした。  ⇒<必要A>と同じ(強く表す)  ※北海道の②・関東・北信越・近畿・中国班の案を採用
			東北	◎	「必ず」の表現		
			関東	保	「必要」を強く表す		
			北信越	保	(顔を強めに)「必要」		
			東海	●	必ず + 必要		
			近畿	ア	強く「必要」と表現		
			中国	△	要る		
			四国	●	/必ず/ + /必要/		
			九州	保	大事(表情)		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
7 国際人権章典	国連総会で採択された世界人権宣言と国際人権規約（社会権規約・自由権規約）の通称。社会権規約は「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」、自由権規約は「市民的及び政治的権利に関する国際規約」をさし、法的拘束力がある。（goo国語辞書）	※「章典」は聞きなれない用語ですが、条文手話翻訳の際に必要ですので、ご検討願います。	北海道	●	「国際」＋「人権」＋「辞典」	<〇〇章典> ○ 合成 <国際人権章典A> ● 組み合わせ <国際人権章典B> ● 組み合わせ	<国際>と<人権>は標準手話があるので、「章典」をどうするか検討した。<憲章>の標準手話を参考にして<〇〇章典>を作成した。 <〇〇章典> ⇒<憲章>の右手を指先から下げる（<憲章>と<文章>の合成） <国際人権章典A> ⇒<国際>＋<人権>＋<〇〇章典> <国際人権章典B> ⇒<世界・国際C>＋<人権>＋<〇〇章典> ※班の案の採用なし
			東北	●	「国際」＋左手「人権」・右手「条約」の表		
			関東	●	「国際」＋「人権」＋「法」＋立てた左手の掌に曲げた右手5指の指先を付ける		
			北信越	保	国際/人権/法律		
			東海	ア	法をシに変えた		
			近畿	●	「国際」＋「人権」＋「宣言」＋「法」		
			中国	●	国際＋人権＋法		
			四国	●	／国際／人権／章（文章横に移動）／決める		
			九州	●	国際＋人権＋賞		
8 是正	悪い点や不都合な点を改めて正しくすること。「是」には、道理にかなっていること、正しいこと、という意味がある。「正」には正しいこと、ちょうど、という意味がある。（実用日本語表現辞典）		北海道	●	「正確」＋「改訂」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<正直>＋<代える>、<良い>＜変わる＞の表現が見られた。正しく代えるという意味に近い<正直>＋<代える>を採用した。 ⇒<正直>＋<代える・代替B>（人差し指） ※関東・近畿・中国・九州班の案を採用
			東北	●	「良い」＋「変わる」の表現		
			関東	●	「正しい」＋「代える」		
			北信越	保	（逸れた道を正しい道に戻す流れ）		
			東海	●	不正を正す		
			近畿	●	「正しく」＋「変える」		
			中国	●	正しい＋変わる		
			四国	●	／正しい／左掌の上に右手掌をのせる（元に戻すの意味）		
			九州	●	正しい＋変える（人差し指）		
9 既存	すでに存在している状態や事物を指す言葉。これは、新たに生み出される前の、あるいは改変される前の状態を示す。（例：「既存の法律」「既存のシステム」「既存の建物」など。また、ネット上では、「既存のウェブサイト」「既存のデータベース」など）（実用日本語表現辞典）		北海道	●	「前」＋「ある」	<継続> △ ラベルの追加 <既存> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、<ある>と組み合わせた表現が見られた。「相変わらず」意味の表現は、標準手話のラベルとして確定していないことがわかり、<継続>にラベル追加することに。<ある>の表現は2回ほど表現する案もあったがシンプルに1回とした。 <継続> ⇒<相変わらず>（5指）と同じ <既存> ⇒<相変わらず・継続>＋<有る・です> ※北信越班の案を参考
			東北	保	右手「あるある」の表現		
			関東	保	脇腹付近で「ある」を2回		
			北信越	○	前＋そのまま（単語分けずに続けて表現する）		
			東海	●	手前、ある		
			近畿	◎	手を軽くたたくようにする		
			中国	●	前から＋ある		
			四国	保	／今／ある／		
			九州	●	基＋ある		
10 廃止	やめて行わないこと。（例：「赤字路線を廃止する」「虚礼廃止」など）（goo国語辞書ほか）		北海道	ア	「つぶれる」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほぼ同じで<取り止め・運休>が多かったためそのまま採用とした。 ⇒<取り止め・運休>と同じ ※北海道班・東北班・関東班・北信越班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	△	「止める」の表現		
			関東	△	「潰す」		
			北信越	保	「廃止」つぶれる・なくなるイメージ		
			東海	△	てっばい		
			近畿	保	両手でつぶす様子		
			中国	●	潰す		
			四国	△	／つぶす（II385）		
			九州	保	つぶれる		
11 両立	二つの物事が同時に支障なく成り立つこと。（例：「仕事と家庭とを両立させる」など）（デジタル大辞泉）		北海道	ア	両手人差し指を「一緒に手前に出す」	保 保存手話	9班の案を見ると、<平行>か、人差し指を返してそろえてから前に動かす表現が見られた。以前確定した用語の表現などを参考にして、<ワーケーション>のアレンジとした。 ⇒掌を上に向けた両手人差し指を内側に返して平行に置く（<ワーケーション>の3動作目…アレンジ） ※北海道班・関東班・近畿班の案を採用
			東北	◎	「平行」の表現		
			関東	保	指の腹を上、指先を前に向けた両手人差し指を、爪が上を向くように山なりに回転させて前でそろえる		
			北信越	保	人差し指2本を同時に前に出す		
			東海	◎	なを2本		
			近畿	保	両手の人差し指で前にそろえる		
			中国	保	鳥取手話		
			四国	△	両手人差し指を前に出す		
			九州	●	同時＋両手の人差し指を前方へすすめる		
12 特有	それにもみ見られ他にはないさま、独自のもの、固有のものであるさまなどを意味する表現。（例：「この地域に特有の文化」など）（実用日本語表現辞典）	参考：<固有・所有>⇒<持つ>と同じ <私有>⇒<個人>と同じ	北海道	●	「特徴」＋「持つ」	● 組み合わせ	<特別>または<特別><持つ>が多く見られたが、「京都特有のなんとか」と言う場合に合わないため、意味に合った表現として<有名・メジャー>を使うことにした。 ⇒<特別>＋<有名・メジャー> ※班の案の採用無し
			東北	●	「自分」＋「持つ」の表現		
			関東	◎	甲を前に向け人差し指を立てて、素早く握る		
			北信越	●	自分（独自）/性質		
			東海	●	特別にもつ		
			近畿	保	「特別」＋「くせ」		
			中国	●	特別		
			四国	●	／特別／持つ／		
			九州	●	特別＋持つ		
13 ニーズ	必要。要求。需要。（例：「市民のニーズにこたえる」「消費者のニーズが多様化する」など）（goo国語辞書ほか）		北海道	ア	「要求・要望」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、表現は<求める・ください・ちょうだい（2023年度確定）>が多かったためそのまま確定とした。 ⇒<求める・ください・ちょうだい>と同じ ※北海道班・関東班・近畿班・四国班・九州班の案を採用
			東北	◎	「求められる」の表現		
			関東	△	「要求される」		
			北信越	保	「要求」※立場によって反対表現にもなる		
			東海	△	ようぼう		
			近畿	△	要求・要望		
			中国	○	二＋要求		
			四国	△	要求する		
			九州	保	要望（文にそって向きをかえる）		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
14 斬新	趣向や発想などがきわだつて新しいさま。 (例:「斬新な技法」「斬新奇抜なアイデア」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「新しい」+ 左手5指の輪に右手人差指を左方へそらす	ア アレンジ	<新しい>を強く表現する班もあったが、四国班と関東班、東北班の目元での表現がピッタリということで採用した。  ⇒目の下で<新しい> (<新しい>のアレンジ)  ※東北班・関東班・四国班の案を採用
			東北	◎	目にあて、「新しい」の表現		
			関東	◎	目の前で両手で「新しい」		
			北信越	保	ひらめく/変化		
			東海	△	新しい		
			近畿	◎	もっと新しい		
			中国	△	新しい		
			四国	ア	／新しい／を強く表現する		
			九州	保	利き手で珍しい(1回)		
15 緊密	非常に密接に関係しあっているさま。しっかりと連携しあっているさま。 (実用日本語表現辞典)		北海道	●	「秘密(隠れる)」+「関係」	<関係B> 保 保存手話  <緊密> ● 組み合わせ	前後に動かさず<関係B>を作成し、<丈夫・堅実>と組み合わせることに。左右に動かさず<関係><丈夫・堅実>も2班に見られた。  <関係B> ⇒両手2指をつなぎ合わせ前後させる  <緊密> ⇒<関係B>+<丈夫・堅実・頑丈・強化> ※北信越班の案を採用
			東北	◎	左三本指を右手でつかみ、胸の前で一周する		
			関東	●	2指で「固い」+「関係、結びつき」		
			北信越	○	関係/堅い		
			東海	△	したい		
			近畿	◎	関係 + 同じ		
			中国	●	関係 + 固い		
			四国	ア	／関わる／の手を強く握り込む		
			九州	●	関係 + かたい		
16 肯定	「肯定」…1そのとおりであると認めること。また、積極的に意義を認めること。 (例:「現世を肯定する」など) 「肯定的」…そのとおりであると同意するさま。積極的に認めるさま。 (例:「原案に肯定的な意見が多い」など) (goo国語辞書ほか) 「肯定的認識」…物事や出来事、人に関して肯定的に認知する力のこと。メンタルトレーニングにおける大きな柱の一つ。何があっても反応をポジティブに持っていくということ。で、「無理やり思い込む」ということではない。(勤医協中央病院)		北海道	ア	「認める」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、肘を添えるか添えないかの違いはあるがほぼ同じ表現であった。片手の<許す・同意>と同じとした。  ⇒<許す・同意>と同じ(片手)  ※北海道班・東北班・関東班・北信越班のA・近畿班・中国班・四国班の案を採用
			東北	◎	「認める」の表現		
			関東	△	「認める」		
			北信越	保	A:認める B:認める(両手使う)		
			東海	△	みとめる、手を添える		
			近畿	△	認める		
			中国	△	認める		
			四国	△	うなずきながら/認める/		
			九州	保	認める		
17 否定	肯定⇔否定 ① そうではないと打ち消すこと。また、非として認めないこと。 (例:「うわさを否定する」「暴力を否定する」など) (goo国語辞書)		北海道	ア	「認めない」	△ ラベルの追加	<肯定>と揃えた。  ⇒<不同意>と同じ(片手)  ※北海道班・東北班・関東班・北信越班のA・近畿班・中国班・四国班の案を採用
			東北	◎	「認めない」の表現		
			関東	△	「認めない」		
			北信越	保	A:認めない B:認めない(両手使う)		
			東海	△	みとめない、手を添える		
			近畿	△	認めない		
			中国	△	認めない		
			四国	△	首を振りながら/認めない/		
			九州	保	認めない		
18 幼年期(育つ)	厚労省「健康日本21」第6章第2節「人生の6段階」では、生まれてから死ぬまでの生涯を、「幼年期」(育つ)「少年期」(学ぶ)「青年期」(巣立つ)「壮年期」(働く)「中年期」(熟す)「高年期」(稔る)の6段階に大別している。「幼年期」…生理的機能が次第に自立する時期である。少年期を準備する時期にあたり、人格や習慣を形成する時期として重要。 https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/s0.html		北海道	●	「赤ちゃん」+「幼児」+「間」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<子どもA>、<幼稚園>の1動作目、<子どもB>が見られた。赤ちゃんから含むので、赤ちゃんの意味がある<子どもA>を使った表現とした。  ⇒<子どもA>(手の振り小さく)+<間A・期間>  ※関東班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	小指 + 「赤ちゃん」の表現		
			関東	●	「赤ちゃん」+「間、期間」		
			北信越	●	幼(稚園)/期		
			東海	◎	幼児 + 期		
			近畿	●	幼 + 期間		
			中国	●	赤ちゃん + 期間		
			四国	●	／赤ちゃん／間／		
			九州	●	子ども + 間		
19 少年期(学ぶ)	社会参加への準備の意義があり、精神神経機能の発達の時期。生活習慣が固まる時期として重要。		北海道	●	「少年」+「間」	ア● アレンジとの組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。<少年>の2指はさむ動作を正しく入れることとした。  ⇒左手人差指で<少年>の動作+<間A・期間> (1動作目…<少年>のアレンジ)  ※北海道班・関東班・東海班・近畿班・中国班・九州班の案を採用
			東北	●	薬指 + 「少年」の表現		
			関東	●	「少年」+「間、期間」		
			北信越	●	少(年)/期		
			東海	◎	少年 + 期		
			近畿	●	少年 + 期間		
			中国	●	少年 + 期間		
			四国	●	／少年／間／		
			九州	●	少年 + 間		
20 青年期(巣立つ)	身体的には生殖機能は完成し、子供から大人へ移行する時期。学生生活や単身生活で、生活習慣に問題がある場合も多く、壮年期以降の危険な生活習慣の出発点でもあり、重要な時期であると考えられる。	※幼年期・少年期・青年期・壮年期・中年期・更年期 それぞれに具体的に何歳から何歳までという、規定はないようです。	北海道	●	「青年」+「間」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現だったのでそのまま採用。  ⇒<若い・ユース・ヤング>+<間A・期間>  ※北海道班・関東班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	中指 + 「青年」の表現		
			関東	●	「若い」+「間、期間」		
			北信越	●	青(年)/期		
			東海	◎	成年 + 期		
			近畿	●	青年 + 期間		
			中国	●	青年 + 期間		
			四国	●	／若い／間／		
			九州	●	若い + 間		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
21	壮年期 (働く)	社会的には、働く、子供を育てるなど、極めて活動的な時期。働けるということが健康であると考えられる時期にあっている。この時期は家庭を形成し、子供を育て、子供の身体や病気を通してもう一度健康の問題を考えるよいチャンスであるといえる。	北海道	○	親指と小指を額に左から右へ引く + 「間」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、さまざまな表現あり。若者の次の「大人」のイメージで、「成人」の意味で使われる<成長・高いB>とした。  ⇒<成長・高いB> (<大人>の1動作目) + <間A・期間>  ※班の案の採用無し
			東北	●	人差指 + 「壮年」の表現		
			関東	●	「30」 + 「40」 + 「～くらい」 + 「間、期間」		
			北信越	●	活動/期		
			東海	◎	働き + 期		
			近畿	●	青年 + 後 + 期間		
			中国	●	往年 + 期間		
			四国	●	／活動／間／		
			九州	ア	利き手を「う」をS字に上へ動かす + 間		
22	中年期 (熟す)	社会的には高年期への準備期であり、身体機能が徐々に低下していく時期。続く高年期への準備としてこの時期は重要で、趣味、健康問題あるいは親の介護を通じたネットワークが形成される可能性が高い。高年期における障害や生活の質を視野に入れて、自らの健康を設計することが重要。	北海道	●	「中」 + 「年齢」 + 「間」	<中年> ● 組み合わせ  <中年期> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、いくつかの表現あり。<高齢>を途中で止める動作があるがまぎらわしい。以前確定した<中年> (<中> + <高齢>) を参考にし、<中> + <年齢> + <間A>とした。  <中年> ⇒<中> (人差指) + <年齢 (歳)>  <中年期 (熟す)> ⇒<中年> + <間A・期間> ※北海道班・東海班の案を採用
			東北	●	親指 + 「高齢」の表現		
			関東	●	「40」 + 「60」 + 「～くらい」 + 「間、期間」		
			北信越	ア	高齢の表現を弱め&小さめに + 期		
			東海	◎	中年 + 期		
			近畿	●	年寄 + 前 + 期間		
			中国	●	中年 + 期間		
			四国	ア	／高齢者／のアレンジ 動きを小さく行う + 間／		
			九州	●	中 + 高齢 + 間		
23	高年期 (稼ぐ)	社会的には、人生の完成期で余生を楽しむ、豊かな収穫を得る時期。一方、身体的には老化が進み、健康問題が大きくなる。この時期は、多少の病気や障害を抱えていても、生活の質を維持し、豊かに暮らすことができるよう自ら試みる事が重要。	北海道	●	「高齢」 + 「間」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<高齢>が多くそのまま採用とした。  ⇒<高齢・年寄り・エイジング> + <間A・期間>  ※関東班・北信越班・中国班・四国班の案を採用
			東北	●	数詞「6」 + 「老人」の表現		
			関東	●	「高齢、年寄」 + 「間、期間」		
			北信越	保	高齢/期		
			東海	◎	老人 + 期		
			近畿	●	年寄 + 期間		
			中国	●	高齢 + 期間		
			四国	●	／高齢／間／		
			九州	●	高齢 + 間		
24	描写	物の形や状態、心に感じたことなどを、言葉・絵画・音楽などによって写しあわすこと。(例: 「情景を描写する」「心理描写」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	○	上に5指を広げながら下へ下ろす + 「絵を描	ア● アレンジとの組み合わせ	<示すB>、写し取るさま + <絵画>、<エンブレム>に似た表現、<文字>に似た表現、<情報B> + <示すB> + <思い浮かべる>などいろいろな案があり、時間をかけて検討した。文で表す、絵で表す、身体で表すなどいろいろな描写方法があるので、どれでも対応できるように表現を考えた。  ⇒前方に向け5指を曲げた両手をに胸に引き寄せる (<明日は我が身>の②) + 続けて、<示すB> (左手掌に右手人差指の指先をあて少し前に出す) ※班の案の採用無し
			東北	◎	左手+右手「まねる」の表現		
			関東	◎	左手を掌前に向けて立てる。5指を曲げて掌を前に向けた右手を反転させながら引寄せ左掌に指先をつける		
			北信越	●	目で読み取る + 表現		
			東海	●	感想 + 表現		
			近畿	◎	写し取って + 表現する		
			中国	△	表す		
			四国	△	／表現する／		
			九州	●	絵 + こめかみあたりから両手の親指と人さし指を広げていく		
25	自尊心	自分の人格を大切にすること。また、自分の思想や言動などに自信をもち、他からの干渉を排除する態度。プライド。(例: 「自尊心を傷つけられる」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	●	「尊敬」 + 「心」	● 組み合わせ	<尊い・尊重>を使った表現が多かったが、<アイデンティティ>の表現と組み合わせることにした。  ⇒<アイデンティティ> + <尊い・尊重>  ※班の案の採用無し
			東北	◎	「誇りまたはプライド」の表現		
			関東	●	「プライド」 + 「気持」		
			北信越	●	自分/尊敬 (体に近づけて上にあげる)		
			東海	△	ほこり		
			近畿	○	私 (胸にあてる) + 尊敬		
			中国	△	誇り		
			四国	●	／自分／尊重／心		
			九州	●	自分 + 心 + 尊敬		
26	隠匿	① 人目に触れないように隠しておくこと。(例: 「軍の隠匿物資」など) ② 隠れた悪事。心の中に持った罪悪。(例: 「隠匿心」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	●	「秘密」 + 「隠す」	● 組み合わせ	良い事柄は右寄りに表現、悪い事柄は左寄りに表現しているとの意見を受けて、表現を考えた。  ⇒<秘密B> (左寄りで口元隠す) + 続けてその位置で、<隠す>  ※北信越班の案を参考
			東北	保	「黙す」 + 「隠し」の表現		
			関東	保	両手を揃えて左の腰辺りで後ろに押す。隠す動作		
			北信越	保	上半身の右下に「隠す」		
			東海	◎	隠す + ロチャック		
			近畿	保	①口を隠す ②手を隠す ③しまう		
			中国	△	隠す		
			四国	ア	／隠す／ 手のひらで顔を隠すようにして／保存／		
			九州	保	利き手で口元を隠す + ふられる		
27	遺棄	① 捨てて顧みないこと。置き去りにすること。委棄。(例: 「死体を遺棄する」など) ② 民法上、夫婦または養子縁組の当事者が、同居・扶助・扶養などの義務を怠ること。悪意によるものは、離婚・離縁の原因とされる。 ③ 刑法上、遺棄罪となる行為。	北海道	ア	両手拳の5指を開きながら左から右へ下ろす	ア アレンジ	標準手話の<捨てる>は片手の表現。両手の場合<断捨離> (両手で右斜め下へ) があるが、意味が全く異なるので区別したい。以前から、左側で表す場合悪いイメージがあるので、両手で左側に捨て、顔は逆に向けることに。  ⇒<断捨離>を左側に表し、同時に顔は逆に(右に)向ける  ※北信越班の案を採用
			東北	◎	両手「捨てる」の表現		
			関東	◎	右後ろに向かって両手の握り拳を開く。捨てる動作		
			北信越	保	捨てる		
			東海	保	鼻、捨てる		
			近畿	ア	捨てるのアレンジ		
			中国	△	放棄		
			四国	ア	両手で捨てるようす		
			九州	保	捨てる		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
28 近親	① 血縁の近い親族。 ② 主君のそば近くに仕える親しい臣下。近臣。 ③ きわめて親しいこと。また、そのさま。		北海道	ア	つまんだ左手2指を口に当て、つまんだ右手2指を左手に近づける	ア アレンジ	9班の案を見ると、<近い><親戚>が多く使われていたが、北海道班のアレンジ表現がすっきりしているため採用とした。  ⇒<親類A> (つまんだ2指の輪を頬につけ、右手2指を前に出す)を逆の動作に(右手を近づける) (<親類A>のアレンジ)  ※北海道班の案を採用
			東北	●	「近い」+「親戚」の表現		
			関東	●	「近い」+「親せき」		
			北信越	保	A:親戚(近めに) B:親しい(関係深い表情で)		
			東海	△	しんせき		
			近畿	ア	親戚の近くに		
			中国	●	親戚 + 近い		
			四国	ア	①近い親戚の表現 ②親しい友達の表現		
			九州	●	近い(2回)		
29 生計を立てる	「生計」…生活のための手段や方法。 「生計を立てる」…収入を得て生活を維持すること。(意味解説辞典)		北海道	●	「生活」+「会計」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<生活>とお金・収入に関わる表現が多く見られた。収入を得て生活を維持する意味にあった表現を考案した。<生活>+<収入>、<収入>+<生活>のどちらにするか迷ったが、日本語ラベルに合わせた表現とした。  ⇒<生活>+<所得・収入>(片手)  ※東北班・近畿班の案を参考
			東北	●	「お金をもらう」+「生活」の表見		
			関東	●	「給料」+「生活」		
			北信越	●	生活 + 会計		
			東海	●	生活できる		
			近畿	●	生活 + 収入を得る		
			中国	●	給与 + 生活		
			四国	●	／給料をもらう／生活する／		
			九州	●	生活 + 計画		
30 在職	ある職務についていること。 (例:「今の会社に三〇年在職している」など) (デジタル大辞泉ほか)		北海道	●	「現在」+「仕事」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、<職業>+<持つ>、<今>+<職業>、<居る>+<職業>、<職業>+<居る>などが見られた。検討結果、<職業>のラベル追加とした。  ⇒<職業(労働・仕事)・事業>と同じ  ※近畿班・中国班の案を採用
			東北	●	「今」+「仕事」の表現		
			関東	×	※内容に合わせて表現する		
			北信越	●	仕事/(して)いる		
			東海	●	いる + 職		
			近畿	△	働く		
			中国	△	仕事		
			四国	●	／仕事／居る／		
			九州	●	仕事 + もつ		
31 国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)	デフリンピックや世界ろう者選手権大会など、きこえない・きこえにくい人のスポーツとその競技大会を統括、運営する団体。略称はICSD、仏語名称の略称であるCISSも同様に用いられる。国際競技連盟連合(GAISF)加盟。事務所はスイス・ローザンヌ。124の国と地域が加盟。(2023年8月22日時点)	(International Committee of Sports for the Deaf: ICSD/Comité International des Sports des Sourds: CISS)	北海道	●	国際手話の指文字「ICSD」	<ろう者A> ●組み合わせ  <ろう者B> ●組み合わせ  <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)A> ●組み合わせ  <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)B> ●組み合わせ  <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)C> ●組み合わせ  <ICSD(国際ろう者スポーツ委員会)> ●組み合わせ	まず「ろう者」の標準手話が無いので、作ることに。 <ろう者A> ⇒<ろう・聞こえない>+<人々> <ろう者B> ⇒<ろう・聞こえない>+<~人・~者>※右手のみの表現  次に<国際A・C><スポーツB・C>があるので、それぞれを組み合わせることに。「ろう者A・B」を作った。基本をAとするが、どちらでも使いやすい方を使用。 <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)A> ⇒<国際>+<ろう者>+<スポーツB>+<委員会> ※班の案は無し <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)B> ⇒<世界・国際C>+<ろう者>+<スポーツB>+<委員会> ※東北・中国・四国・九州班の案を採用 <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)C> ⇒<国際>+<ろう者>+<競技・スポーツC>+<委員会> ※近畿班の案を採用 <国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)D> ⇒<世界・国際C>+<ろう者>+<競技・スポーツC>+<委員会> ※四国班の案を採用  さらに、アルファベットの略称も作ることに。 ⇒<I>+<C>(5指)+<S>+<D> ※北海道・北信越・東海・近畿・中国班の案を採用
			東北	●	「国際」+「ろう者」+「スポーツ」+「委員会」の表現		
			関東	●	「国際」+「ろう」+「スポーツ」+「委員会」		
			北信越	保	国内:ICSD(Dは両手)、国際:ICSD		
			東海	◎	指文字		
			近畿	●	①国際+ろう者+スポーツ+委員+会 ②英指文字ICSD		
			中国	●	国際+ろう者+スポーツ+委員会 CSD 指文字		
			四国	●	／国際／ろう者／スポーツ／委員会		
			九州	●	国際 + ろう + 者 + スポーツ + 委員 + 会		
32 フィジカル	身体的な力、運動能力 (例:「あの選手、フィジカルがすごい」「フィジカル面での強化を意識することは大切」など)		北海道	◎	両手を立て、力強く近づけ対立させる	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<体>+<たくましい>が多く、<体>+<力>、<体>+<技術>なども見られたが、本委員からは<丈夫・堅実>を使った表現がよいという意見が多く、決定した。  ⇒<体・身体>+<丈夫・堅実・頑丈・強化>  ※班の案の採用無し
			東北	●	「なんでも」+「簡単」の意味の掌を吹く		
			関東	●	「体」+「技術」		
			北信越	ア	身体/(両手で)力		
			東海	●	体 + 力		
			近畿	◎	体 + 丈夫		
			中国	●	体 + 力		
			四国	●	／体／的／力		
			九州	●	身体 + 強い		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
33	コンディション	「コンディション」…ピークパフォーマンスの発揮に必要な全ての要因。「状態」「体調」「条件」「体力」「精神」「技術」「医療」「栄養」「環境」といった要因。「コンディショニング」…ピークパフォーマンスの発揮に必要な全ての要因がある目的に向かって望ましい状況に整えること。	北海道	●	「体」＋「状況（様子）」	● 組み合わせ	「状態」の意味だが、体のことを言うときに使う表現として北海道班・九州班の案を採用した。 ⇒<体・身体>＋<状態・風潮・事態・局面> ※北海道班・九州班の案を採用
			東北	●	右手「C」＋「環境」の表現		
			関東	●	「体」＋「調整」		
			北信越	ア	身体/調整		
			東海	△	状態		
			近畿	◎	指文字「C」を体の前でまわす		
			中国	△	状態		
			四国	△	／状態／		
			九州	●	身体＋様子		
34	スポーツファーマシスト	医療に係る最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師。薬剤師の資格を有した方が、アンチ・ドーピング規則を中心に広くスポーツと関係する内容の修了後に認定される資格制度。 ※一般的にはまだ、なじみのない用語ですが、デフリンピック関連で必要となりますので、ご検討願います。	北海道	●	「スポーツ」＋「薬」＋「人」	<スポーツファーマシストA> ● 組み合わせ <スポーツファーマシストB> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、<スポーツ>＋<薬剤師>との組み合わせがほとんどであった。「A・B」それぞれを作ること。 <スポーツファーマシストA> ⇒<スポーツB>（5指）＋<薬剤師> ※東北班・関東班・北信越班・中国班・四国班の案を採用 <スポーツファーマシストB> ⇒<競技・スポーツC>＋<薬剤師> ※近畿班の案を採用
			東北	●	「スポーツ」＋「薬」の表現		
			関東	●	「スポーツ」＋「薬剤師」		
			北信越	保	スポーツ/薬/師		
			東海	●	ドーピング＋専門＋人		
			近畿	●	「スポーツ」＋「薬剤師」		
			中国	●	スポーツ＋薬＋士		
			四国	●	／スポーツ／薬剤師／		
			九州	●	スポーツ＋専攻＋薬剤師		
35	ナショナルチーム	国を代表して編成した選手団。	北海道	●	「国」2回表現＋「チーム」	<チームB> ○ 合成 <ナショナルチームA> ● 組み合わせ <ナショナルチームB> ● 組み合わせ	9班の案の中で、北信越班、近畿班の両手の表現を「チームB」とすることに。 <チームB> ⇒両手指文字<チ>の人差指をつけ、半円を描いて引き寄せ、再び人差指をつける 次に、<国>＋<代表>に<チームA・B>をそれぞれ組み合わせること で意見がまとまった。 <ナショナルチームA> ⇒<国・国家>＋<代表>＋<チームA> <ナショナルチームB> ⇒<国・国家>＋<代表>＋<チームB> ※北信越班・近畿班の案を採用
			東北	●	「代表」＋「団体」の表現		
			関東	●	「国」＋「代表」＋「団体」		
			北信越	保	国/代表/チーム		
			東海	●	体表＋チーム		
			近畿	●	「国」＋「代表」＋「チーム」		
			中国	●	国＋チーム		
			四国	●	／国／代表／チーム／		
			九州	●	国（国際）＋代表＋団体/指文字「な」で		
36	筋力	筋肉の発揮できる能力。例：ボディビルダーのようになること＝筋肉をつける 競技のパフォーマンスを上げる＝筋力をつける	北海道	●	「筋肉」＋「力」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、左上腕の筋肉を触る・示す表現が多かった。筋肉は体中にあり、上腕以外の筋力を示すときに紛らわしくなるため、<筋肉B>を使った九州班の案を採用した。 なお、<筋肉>を表現するときに捻らないように注意が必要。 ⇒<筋肉B>（左右に）＋<力・能力> ※九州班の案を採用
			東北	●	「筋肉」（捻りあり）＋「力」の表現		
			関東	◎	曲げた左上腕部に、軽く丸めた右手5指の指先をつけてから上に離す		
			北信越	ア	筋肉が増えるイメージ		
			東海	◎	三＋力		
			近畿	○	筋肉＋強い		
			中国	保	腕＋出る（筋肉の盛り上がり）		
			四国	●	／筋肉（おさえる）／力／		
			九州	●	筋＋力		
37	サプライヤー	物品の提供者。何かしらの供給をしている会社のこと。スポンサーは資金や支援を提供。	北海道	●	「物」＋「スポンサー」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<物><運ぶ>、<支払う>と<支援>の合成、<贈る><会社>、<スポンサー>のお金の手を<贈る>に変えた表現などが見られた。 <供給>の標準手話があったので、協議の結果これを用いた表現とした。 ⇒<供給>＋<団体> ※班の案の採用無し
			東北	●	左親指で「物を上げる」の表現		
			関東	●	「贈る、与える」＋「会社」		
			北信越	●	物＋あげる		
			東海	●	供給＋会社		
			近畿	○	物＋助ける（資金援助と似た表現）		
			中国	●	物＋運ぶ		
			四国	ア	スポンサーのアレンジ 掌を下におろしてあげるようす		
			九州	●	非利き手の人さし指をたて、支払う＋支え		
38	(ウォーミングアップ)	運動やスポーツを始める前に行う準備運動	北海道	ア	両手掌を上に向け、腹からあおるように上げる（動作）	ア アレンジ	ウォーミングアップとクールダウンの2語の表現をセットで考案した。9班の案を見ると、<暖かい>が多くみられた。自分の身体をウォーミングアップによってあたためるさまの表現とした。 ⇒<暖かい>を小さく手だけ動かす（<暖かい>のアレンジ） ※北信越班・四国班・九州班・近畿班・関東班・北海道班・中国班の案を採用
			東北	●	「前」＋「運動」の表現		
			関東	保	手首を動かすだけで「暖かい」を表す		
			北信越	保	あたためる		
			東海	◎	スポーツ＋上へあげる		
			近畿	◎	両手であおいでからだを温める様子		
			中国	△	温める		
			四国	保	／あたためる／		
			九州	保	あたためる（お腹から胸あたり）		
39	(クールダウン)	激しい運動をした後に軽い運動やストレッチをすること	北海道	ア	「胸に当てた開いた両手を下ろしながら5指を閉じる」＋「運動」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、<おちつく>が多くみられた。こちら、自分の身体をクールダウンさせてしずめるさまの表現とした。 ⇒<おちつく>と同じ（掌下向きでフーッと息を吐きながら） ※北信越班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「後」＋「運動」の表現		
			関東	●	「軽い」＋「運動」		
			北信越	保	落ち着かせるイメージ		
			東海	◎	スポーツ＋下へしずめる		
			近畿	◎	38と逆の表現		
			中国	△	落ち着く		
			四国	保	／おちつく／		
			九州	保	おちつく（胸のあたりから）		

【2024年9月本委員会検討単語】 創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
40 違和感	自身の感覚や認識と現実の状況が一致しないときに生じる心理的な不快感を指す言葉。 違和感とは、物理的な症状としても現れることがある。例えば、体調不良や病気の初期症状として感じる不快な体感も違和感と呼ばれる。このような違和感とは、自身の健康状態を把握し、適切な対応を取るための重要なサインである。 (実用日本語表現辞典) (例: 「この状況に違和感を覚える」「喉に違和感がある」など)		北海道	ア	両手甲をつけ合わせ、動きを繰り返す	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほぼすべて同じであり、そのまま採用とした。  ⇒<そぐわない>と同じ  ※北海道班・関東班・北信越班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「抵抗」+「感じる」の表現		
			関東	△	「そぐわない、気持ち悪い」		
			北信越	保	違和感 (動画の通りです、そのままです)		
			東海	保	あわない		
			近畿	△	気持ち悪い		
			中国	保	抵抗ある		
			四国	△	／そぐわない／		
			九州	保	違和感		
41 公用語	ある国や地域で、おおやけの場での使用が定められている言語。また、国際機構や国際機関で、おおやけの場での使用が定められている言語。一つの言語とは限らない。 [補説]国際連合の公用語は、中国語・英語・フランス語・ロシア語・スペイン語・アラビア語の六つ。 (goo国語辞書)	※日本では、法律で公用語は決まっておらず、日本語のみが慣習として公用語の扱いを受けています。今後の手話言語法制定の為に重要な単語。	北海道	●	「公」+「使用」+「言語」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<公>に、<言語>または<語>または<句>を使う点で共通していたが、表現のしかたには差異が見られた。最も合理的な表現として<公>+<語> (1回)とした。  ⇒左手<公>+続けて、<語>  ※四国班の案を採用
			東北	●	同時性で「公」+「用語」の表現		
			関東	○	「公」の左手の下で「言語」		
			北信越	●	公(用)の表現のまま「認める」/言語		
			東海	●	公(ムを空書)+言語		
			近畿	ア	「公」+言語 アレンジ		
			中国	●	公(左手残して)+言語		
			四国	○	左手/公/ 右手/語/		
			九州	●	公を非利き手の人さし指で表現し + 単語		
42 不器用	① 手先が器用でないこと。また、そのさま。ぶきつちよ。(例: 「不器用な手つき」など) ② 物事の処理のへたなこと。また、そのさま。(例: 「不器用でお世辞一つ言えない」など) ③ 道理にはずれていること。卑劣なこと。また、そのさま。(goo国語辞書ほか)		北海道	ア	「苦手」	保留	保留(検討するも、さまざまな状況での使い方があり、まとまらなかったため)
			東北	●	指の当て、「下手」の表現		
			関東	保	開いた両手を向い合せ同時に小刻みに動かす		
			北信越	保	(手先の方に合わせて)下手		
			東海	△	へた		
			近畿	◎	鼻をぺちやとたたく(にがて)		
			中国	保	1,2 岡山手話 3 鳥取手話		
			四国	ア	／器用／のアレンジ 人差し指を下に打ち		
			九州	ア	苦手(1回・強く)		
43 業務日誌	日々の業務内容を詳細に記録する文書。日報に比べて詳細な情報を含み、具体的な作業内容、時間の配分、対応した内容、発生した問題とその対処法などが記載される。自身の振り返りや経験の蓄積、将来的な参考資料として活用され、フリーフォーマットで自由に記述することが多い。 (BOXIL)		北海道	●	「仕事」+「毎日」+「書く」	<書くC> ア アレンジ  <日記B> ● 組み合わせ  <業務日誌> ● 組み合わせ	まずは、標準手話の「日記」の表現を確認。 <日記>…毎日+書く(縦書き) 次に、標準手話の「書く」の表現を確認。 <書くA>…縦書き <書くB>…縦書きで位置を変えて2回 どちらも縦書きの表現なので、横書きのラベル<書くC>を作り、合わせて<日記B>も作ることに。  <書くC> ⇒指先を右に向けた左手掌に、つまんだ2指を位置を変えながら横に2~3回動かす(横書き)  <日記B> ⇒<毎日>+<書くC>  <業務日誌> ⇒<職業(労働・仕事)・事業・業務>+<日記B> ※近畿班の案を採用
			東北	●	「仕事」+「残る」の表現		
			関東	保	「仕事」+ 仕事の左手を残し、右側で指先下向きの右手4指を2回横に動かす。		
			北信越	●	仕事/記録		
			東海	◎	仕事 + 文を書く		
			近畿	○	仕事 + 毎日 + 記録		
			中国	●	仕事 + 記録		
			四国	●	／仕事／毎日書く(日記)／		
			九州	●	業務 + 記録		
44 使命	① 使者として受けた命令。使者としての務め。(例: 「特別な使命を帯びる」など) ② 与えられた重大な務め。責任をもって果たさなければならない任務。(例: 「教師の使命」など) (goo国語辞書)		北海道	◎	左手掌に指文字「シ」を立てて右手をのせて回す	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、片手表現の<責任>が多くみられたが、関東班の両手で表現する<双肩に担う・背負って立つ>がピッタリということで採用した。  ⇒<双肩に担う・背負って立つ>と同じ  ※関東班の案を採用
			東北	●	「指令」+「責任」の表現		
			関東	保	両手両肩で「責任」		
			北信越	●	自分に「命令」/担当		
			東海	△	責任		
			近畿	●	「私」+「責任」		
			中国	△	責任		
			四国	●	／もらう(与えられる)／責任		
			九州	●	指さし + 依頼		
45 そそのかす	① その気になるように仕向ける。特に、おだてて悪いほうへ誘い入れる。(例: 「悪事をそそのかす」など) ② 早くそうするように勧める。せきたてる。(goo国語辞書ほか)		北海道	○	左手親指に右手を上げていく	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、さまざまな表現があったが、『わたしたちの手話学習辞典1』に「やらせ、そそのかす、仕向ける」単語が掲載されており、整合性をとるために<やらせ>にラベル追加とした。  ⇒<やらせ>と同じ  ※班の案の採用無し
			東北	●	人差し指で「誘う」の表現		
			関東	保	甲を下にして人差し指を伸ばし前方を2回突っ		
			北信越	○	人差し指に勧めるようなイメージで表現		
			東海	●	男 + いけいけ		
			近畿	保	そっとやらせる		
			中国	△	おだてて		
			四国	保	人差し指で支持する様子をし、行けという感		
			九州	ア	指文字の「そ」+ のの字を書く(少し悪い表		

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
46 既読	すでに読んでいること。もう読んでいること。(例・「既読のメールを削除する」など)(goo国語辞書ほか)		北海道	●	「前」+「読む」+「終わる」	<読むB> ア アレンジ  <既読A> ● 組み合わせ  <既読B> ● 組み合わせ	標準手話「読む」の表現を確認すると「縦読み」の表現。「業務日誌」で横書きの<書くC>を作ったのと同様に「横読み」の標準手話を作ること。LINEなどは横読み。  <読むB> ⇒指先を右に向けた左手掌に向けて、右手2指の指先を右へ2回動かす(横に読む)  「既読」の2動作目は、9班の案に<…した>と<終わる>に分かれているので、それぞれを採用することに。 <既読A> ⇒<読むB>(1回)+左手を残し、右手で<…した> ※近畿班の案を参考  <既読B> ⇒<読むB>(1回)+左手を残し、<足りる・終わる> ※東北班・四国班・九州班の案を参考
			東北	●	「読んだ」の表現		
			関東	●	左手掌を「見る」、左手の隣で「終わり」		
			北信越	保	見た(見る+真下におろす)		
			東海	●	キ+こちらに出る		
			近畿	●	「読む」+「～した」		
			中国	●	読んで+済み		
			四国	保	／読む／終わる／		
			九州	●	見る(右にスライド)+～た		
47 フォロワー	「フォロー」…自分が興味あって、自分が追っかけている人を指す。○…の後に付いていく、(後を)追う、従う。○興味を持って追う、関心を持つ。○…を見守る。「フォロワー」…自分に興味があって自分を追っかけている人を指す。XやInstagramなどのSNSにおける「フォロワー」とは、自分のアカウントをフォローしているユーザーのことを指す。「フォロー」をするとタイムラインやフィードにフォローをしたアカウントの投稿が表示される状態になります。そのため、自分のアカウントの投稿内容に興味・関心を持ってきている、投稿を見続けたいと思っっているアカウントが「フォロワー」です。(株式会社ホットリンク)		北海道	●	「左手親指」+「指文字(フ)」+右手5指を近づける	<フォローA> △ ラベルの追加  <フォローB> ア アレンジ  <フォローア> ア アレンジ	中国班や東海班は「ボタンを押す」しぐさ。北信越班は、自分のところに指名がくるようなしぐさ。ネット上での「フォロワー」を意識した表現が使いやすいだろうという意見でまとまった。九州班の表現が、逆の意味の「フォロー」にも使えるということで<フォローAB>を考案し、「フォロワー」は<ずばりB>のアレンジとした。  <フォローA> ⇒<フォローアップ>と同じ  <フォローB> ⇒<ずばりA>を小さく表す(<ズバリA>のアレンジ)  <フォローア> ⇒<ずばりB>を小さく表す(<ズバリB>のアレンジ) ※九州班の案を採用
			東北	●	「助けられる」の表現		
			関東	◎	立てた左手親指に、5指を開いた右手を手前から近づける		
			北信越	ア	人差し指から自分に指名(ポチするイメージ)		
			東海	◎	ボタンを押す+男		
			近畿	◎	人差し指を、もう一方の人差し指で追いかける様子		
			中国	●	相手+押す		
			四国	●	／寄ってくる／人々		
			九州	ア	非利き手で丸をつくり、利き手でボタンを押す様子		
48 パビリオン(pavilion)	①(展示会、見本市、博覧会などでの)展示用の仮設の建物。 ②貴族の庭などに作られる四阿(あずまや)。 ③古典主義建築で、左右の端部に突き出した翼廊部。 ④クリケット競技用の観覧席や選手席。		北海道	○	「指文字(パ)」+右手で左から右へ屋根の形を描く	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<仮>+<建物>、指文字<パ>+<施設>などがあつたが、近未来的な建物の形が多いだろうというイメージから、<ドーム>を使った表現を採用した。  ⇒左手指文字<パ>+左手残して、<ドーム>  ※北海道班の案を採用
			東北	●	「展示」+「館(丘のイメージ)」の表現		
			関東	●	「表す」+「建物」(四角い建物のイメージ)		
			北信越	ア	指文字「パ」+建物		
			東海	◎	パ+施設		
			近畿	◎	「パ」+「施設」		
			中国	×			
			四国	△	／建物／		
			九州	ア	仮+建物		
49 自動運転(自動車)	ドライバー(人間)が行っている、認知、判断、運転操作(加速、操舵、制動など)といった行為を、人間の代わりにシステム(機械)が行うもの。(愛知県ITS推進協議会)		北海道	●	「自動」+「運転」	<自動> ア アレンジ  <自動運転(自動車)> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、「自動」を意味するのに<自然>を小さく表す班があつたため、別途確定したほうがよいということになった。 「運転」は、車の表現が多いが、車以外の機械等でも自動運転がある。しかし、幅広く使える表現が見つからないため、車に限定することにした。なお、車を表現するときに左右に振ると「あおり運転」になってしまうためまっすぐ動かす。  <自動> ⇒<自然>を短く(手首を返す程度)  <自動運転> ⇒<自動>+<自動車>(片手だけの表現)  ※北海道班・九州班の案を採用
			東北	●	「自動」+「運転」の表現		
			関東	●	「自然」+「自動車」		
			北信越	●	自動/任せる/運転		
			東海	●	自然+運転		
			近畿	●	「運転」+「任す」		
			中国	○	センサー+車		
			四国	●	／自動(Ip251)／運転		
			九州	●	自動+車が進む		
50 注意喚起	気をつけなくてはいけない、ということ呼びかけて意識させること。用心するように注意を促すこと。「注意喚起する」とも言う。(実用日本語表現辞典)		北海道	●	「注意」+やや曲げて立てた右手を上へ上げる	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<注意><宣伝>が多くみられ、そのまま採用とした。  ⇒<注意・ふんどしを締めてかかる・戒め・遵守・気を付けて>+<宣伝>  ※東海班・中国班・四国班・東北班の案を採用
			東北	●	「注意」+「お知らせ」の表現		
			関東	●	「注意」+「広める」		
			北信越	●	注意/発信		
			東海	●	気をつける+知らせる		
			近畿	●	「注意」+「促す」		
			中国	●	注意+発表		
			四国	●	／注意／呼びかける／		
			九州	●	非利き手「気を付ける」+利き手「伝える」		